

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	成果目標	実施内容・実績	成果及び評価
1	市民限定宿泊割引事業	観光商工課	市内宿泊をする市民に割引クーポン券を発行し、宿泊料金の一部を助成することで、市内宿泊施設の利用促進を促し、市内経済の活性化と地域の魅力の再発見を図る。	R3.4	R3.7	8,679,700	8,679,700		額面5,000円の伊豆市民限定市内宿泊割引クーポン券3,000枚を市民対象に配布。 対象宿泊施設は、事業に参加する市内宿泊施設で、要件として「市民向け宿泊プラン」の達成が必要。 ・配布期間 令和3年3月25日(木)～5月31日(月) ・利用期間 令和3年4月1日(木)～5月31日(月) 宿泊分 【実績】 ・配布枚数 3,000枚 ・換金枚数 1,598枚	コロナ禍で観光客を受け入れられない市内宿泊施設において、県外等の旅行に行けない市民の利用促進を図り、経済の活性化を図ることができた。 併せて、市民が市内の宿泊施設を利用することで、新たな魅力発見の一助となった。
2	プレミアム付商品券発行事業費補助事業	観光商工課	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い影響を受けた市民生活を支援するとともに、市内における消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることを目的として、伊豆市商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業に対し、補助を行う。	R3.6	R3.12	70,470,716	28,470,716		伊豆市商工会が実施するプレミアム付商品券(いずっち券)発行事業に対し、その事業費へ補助金を交付することにより、感染症の影響を受けた市民生活の支援と市内の消費喚起による市内経済の振興と活性化を図る。 ・商品券名称：伊豆市プレミアム付商品券“いずっち券” ・発行者：伊豆市商工会 ・購入可能者：伊豆市民 ・額面価格：7,000円(1,000円×7枚)※共通券5枚+専用券2枚 ・販売価格：5,000円(プレミアム率40%) ・発行冊数：30,000冊(210,000枚) ・購入限度：1人1回につき4冊まで(複数回の購入可能) ・販売期間：R3.8.2～9.30 ※R3.9.11に完売 ・利用期間：R3.8.1～9.30 ・使用可能店舗：309店舗(公募) 【実績】 ・販売実績：30,000冊(210,000枚) ・利用(換金)実績：209,486枚(未換金：514枚) ・総事業費(補助金交付額)：70,471千円のうち28,470千円	利用(換金)率99.75% 市内における消費を喚起し、地域経済の活性化に繋がった。
3 事業中止										
4	修学旅行支援事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の影響により生じた、修学旅行の中止又は延期によるキャンセル料や感染症対応のためのバスの変更・増便等の追加料金を補助することで、保護者の経済的な負担軽減を図る。	R3.7	R4.1	416,452	416,452		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた修学旅行(中・義務教育学校)のキャンセル料や、3密を避けるためにバスの増便を行った際に生じた増額分等の補助を行った。 キャンセル料2校、バスの変更・増便等の差額分3校	中学校では、キャンセル料の補助により、出発日や行先を変更して、修学旅行を行なうことができた。また、小学校では、バスの増額補助により密を避け安全に実施することができた。加えて、補助により保護者の負担軽減につながった。
5	大学生等応援事業	企画財政課	新型コロナウイルス感染症により、家計の急変やアルバイト収入の減少等の影響を受けた伊豆市出身の大学生等を応援するとともに、伊豆市の良さを再認識してもらうことを目的とし、市の特産品を支給する。	R3.8	R4.2	2,266,620	2,266,620		新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている伊豆市出身で市外に住む学生(大学生・大学院生等)に市の特産品セットを送付。特産品セットは3種類を選定し、申請時に選択可とした。また、申請に合わせて学生に卒業後の就職先希望職種、Uターン希望の有無等のアンケートを実施した。 【支給件数：286件】	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、親元を離れ市外で頑張る学生を特産品で応援するとともに、市内特産品販売事業者の支援にもつながった。 また、アンケート結果からは伊豆市を離れて感じる地元の良いことや将来的なUターン希望が高いこと(約7割)を確認することができた。
6	保育対策事業費補助金	子育て支援課	子育て世帯が安心して児童をこども園や保育園に預けられるよう、市内園に新型コロナウイルス感染拡大を防止するために必要な消耗品や備品を支給する。	R3.4	R4.3	3,495,599	1,750,599		保育所等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の支援として、市内園が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費)、感染防止のための衛生用品の購入等の経費について補助を行った。 補助基準額：500,000円(定員60人以上) 【実績】 ・市内私立園補助額 1,996,769円 ・市内公立園支出額 1,498,830円	消毒用のアルコールや使い捨てのペーパータオルの購入し、使用したことにより、園内の感染リスクを軽減することができた。また、検査キットの購入により、保護者が安心して児童を預けることができるようになった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	成果目標	実施内容・実績	成果及び評価
7	保育対策事業費補助金	子育て支援課	こども園・保育園にICTを活用した園児の登降園管理機能、保護者との連絡機能等を有するシステムを導入することで、保育士の負担軽減を図るとともに、感染リスクを軽減する。	R3.11	R4.3	4,269,100	1,423,460		公立こども園において、園児の登降園管理機能、保護者との連絡機能等を有するシステムを導入した。	登降園時の確認作業がスムーズになり、保護者が密になる環境が少なくなった。また、確認が園舎外で行えるため感染リスクの軽減につながった。
8	保育対策事業費補助金(付増分)	子育て支援課	こども園・保育園にICTを活用した園児の登降園管理機能、保護者との連絡機能等を有するシステムを導入することで、保育士の負担軽減を図るとともに、感染リスクを軽減する。	R3.11	R4.3	1,423,640	1,423,640		公立こども園において、園児の登降園管理機能、保護者との連絡機能等を有するシステムを導入した。	登降園時の確認作業がスムーズになり、保護者が密になる環境が少なくなった。また、確認が園舎外で行えるため感染リスクの軽減につながった。
9	子ども・子育て支援交付金	子育て支援課	子育て世帯が安心して地域子ども・子育て支援事業を利用できるよう、市内事業者に新型コロナウイルス感染症拡大を防止するために必要な消耗品や備品を支給する。	R3.4	R4.3	5,213,288	1,740,288		各事業における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の支援として、市内園が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費)、感染防止のための衛生用品の購入等の経費について補助を行った。 補助基準額:300,000円(地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、病児保育事業) 250,000円(延長保育事業(定員60人以上)) 【実績】 ・市内私立園補助額 3,194,639円 ・市内公立園支出額 2,018,649円	消毒用のアルコールや使い捨てのペーパータオルの購入し、使用したことにより、園内での感染リスクを軽減することができた。また、検査キットの購入により、保護者が安心して児童を預けることができるようになった。
10	子ども・子育て支援交付金	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら放課後児童クラブの運営を継続的に実施していくため、消毒液等の消耗品及び備品の購入を行う。	R3.4	R4.3	3,096,563	1,032,563		市内全放課後児童クラブ(8クラブ)において、新型コロナウイルス感染症対策として必要な消耗品及び備品の購入を行った。 マスク・消毒液・泡ハンドソープ等の消耗品、消毒液スタンド・サーキュレーター等の備品を各クラブへ整備した。	コロナ対策に必要な消耗品及び備品の購入により、放課後児童クラブを継続して開所することができた。 新型コロナウイルス感染症により休所するクラブがあったが、消耗品や備品の活用が一助となり、広がりが見られなかったため、休所期間を最小限に抑えることができた。
11	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	学校において、密閉、密集、密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策を徹底するため、必要な物品等を購入する。	R3.4	R4.3	3,229,999	1,616,999		令和3年度学校保健特別対策事業費補助金(国1/2)の市負担分の補助により、市内小・中・義務教育学校において、新型コロナウイルス感染症対策として必要な消耗品及び備品の購入を行った。 消毒液・泡ハンドソープ・使い捨て手袋等の消耗品、消毒液スタンド・二酸化炭素測定器等を購入し保健室等の整備を充実させた。	コロナ対策に必要な消耗品や備品を購入し、児童及び生徒の学びを保障する体制の整備を行い、感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続することができた。
12	小中学校特別教室空調設備事業	学校教育課	感染防止対策として、換気をしながら授業ができる環境を整備するため、市内小中学校の特別教室に空調設備を設置する。	R3.10	R4.3	29,876,000	29,876,000		市内小中学校9校(小学校6校・中学校3校)の特別教室(各校1室)において、空調設備を設置した。	空調を設置することにより、換気による感染対策を行いながらも、快適に授業を受けることができる環境を整備することができた。
13	小中学校トイレ改修事業	学校教育課	市内小中学校のトイレの洋式化改修を行うことで、飛沫飛散を防止し、感染症対策を強化する。	R3.7	R4.3	11,990,000	11,990,000		市内小中学校のうち4校(小学校2校・中学校2校)において、各校児童生徒用のトイレを和式から洋式に改修した。	洋式化を進めることで、感染症対策をされ、トイレ飛沫からの感染を抑えることができた。また、それとともに、トイレ利用時の快適性の向上に寄与することができた。
14	避難所等用防災資機材整備事業	危機管理課	避難所等における新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切り・飛沫シールドフェンス等を追加整備し、感染症の拡大防止を図る。	R3.5	R4.3	19,067,400	19,067,400		災害時の避難所における感染防止を図るため、間仕切りパーティション、アクリルパーティションを購入した。また、感染拡大に伴う体調管理のため、新たにパルス計測器を購入した。 なお、購入した感染対策用品は、指定避難所・自主避難所等に配備した。 【実績】 間仕切りパーティション 700セット、パルス計測器 14台、フェイスマイル 4セット、アクリルパーティション 50枚	避難所運営における感染防止対策を図ることができた。また、感染対策用品を避難所等に配備することにより、市民の安心安全に繋がった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	成果目標	実施内容・実績	成果及び評価
15	庁舎感染対策事業	資産経営課	庁舎を利用する市民・職員の感染防止を図るため、本庁舎・別館・生いききプラザの改修や消耗品の購入を行う。	R3.7	R4.3	16,536,300	16,536,300		本庁舎、別館、生いききプラザ及び図書館において新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、トイレ等において各設備の非接触化対策を実施した。 【実績】 ①本庁舎・生いききプラザトイレ改修工事 12,100,000円 ・本庁舎8箇所 ・生いききプラザ12箇所 ②生いききプラザカーベット・畳替え工事 2,805,000円(各1箇所) ③本庁別館小便器フラッシュバルブ取替工事 423,500円(8台) ④本庁舎及び別館手洗器水栓取替工事 547,800円(8台) ⑤健診ホール自動扉閉閉装置交換修繕 396,000円(1箇所) ⑥手指消毒液購入 264,000円(60L)	施設利用者に安心・安全な環境を整備することにより、感染拡大防止に寄与できた。
16	事業中止									
17	庁内Web会議システム導入事業	地域づくり課 資産経営課	新型コロナウイルス感染症対策として、遠隔会議等を実施するためのWeb会議用機器の購入及び環境整備を実施する。	R4.2	R4.3	958,870	958,870		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、複数人で相手先とリモート会議できる環境を構築した。 【実績】 ①特別会議室リモート会議対応工事 760,430円(スクリーン・プロジェクタ各1台) ②Web会議用機器購入(カメラ、インターカム40台) 198,440円	会議室においてリモート環境を整備することにより、会議室に一堂に会することが無くなり、移動及び会議出席に伴う感染リスクが減少した。
18	地域公共交通キャッシュレス化推進事業	地域づくり課	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域公共交通のICカード対応整備に係る費用を補助することにより、キャッシュレス化を推進する。	R3.8	R4.3	3,150,000	3,150,000		新型コロナウイルス感染症対策を目的として、キャッシュレス決済機器を路線バスに導入する路線バス事業者に対し、補助金を交付。 【実績】 ・補助事業者 1社 ・補助金額 3,150千円	市内を運行する路線バスがすべてキャッシュレス決済が可能となり、新型コロナウイルス感染拡大防止に効果を発揮した。
19	社会体育施設感染拡大防止事業	社会教育課	市内体育施設の中でも利用団体・人数が多い狩野ドームの利用者の感染防止のため、トイレの自動流水化改修を行う。	R3.10	R4.3	1,122,000	1,122,000		新型コロナウイルス感染症対策の一環として、男子トイレ小便器フラッシュバルブ取替(N=3基)および男女トイレ洗面器新規取付(N=4台)による非接触型への転換を行った。	非接触型への転換により、感染防止と利便性向上を達成した。
20	テレワーク環境整備事業	地域づくり課 資産経営課	市内公共施設において、コロナ禍における新たな働き方として拡大しているテレワークが行える環境を整備する。	R3.11	R4.3	3,892,350	3,892,350		コロナ禍において働き方のニーズの変化に対応するため、既存施設をワーケーションに対応した施設環境に整備した。 【実績】 ①図書館ログハウス改修工事 1,265,000円 ・卓上コンセント増設工:10箇所 ・窓取替工:5箇所 ・入口ドア取替:1箇所 等 ②生いききプラザログハウス用イス購入 99,000円(6脚) ③生いききプラザログハウスWi-Fi環境整備 2,528,350円	テレワークの普及に伴うワーケーション設備の整備を行うことにより、市民及び利用者へ働き方の変化に対応したワークスペースを提供できた。
21	事業中止									
22	サテライト医療環境整備事業	健康長寿課	開業医の高齢化が進む中、保健医療体制の脆弱な土肥地区にICTを活用した病院のサテライトオフィスを設置し、3密を防ぎながら、地域の保健・医療・衛生を維持するための体制を整備する。	R3.8	R4.3	2,246,720	2,246,720		土肥支所内において、市内病院のサテライトオフィス環境を整備した。 【実績】 ・空調設備改修工事:1,221,000円 ・診療室吊り扉改修工事:57,200円 ・備品購入(ディスプレイ、スクリーン等)968,520円	サテライト環境の整備により、市内病院の土肥地区の訪問看護の拠点に活用されており、土肥地区住民の通院における感染リスクの軽減を図ることができた。
23	市内公園利用促進事業	社会教育課	子育て世代が3密を避けるため市内の公園で過ごす契機となるよう、狩野川公園の老朽化した遊具の更新を実施する。	R3.12	R4.3	12,760,000	12,760,000		狩野川公園において、老朽化が深刻であった木製複合遊具を新規遊具へ更新した。 【実績】 ・遊具更新費用:12,760千円	遊具整備により、子育て世代が3密を避けながら気持ちよく集える場所づくりの一端として寄与し、非常に多くの方に来場いただくことができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	成果目標	実施内容・実績	成果及び評価
24	自転車利用推進事業	観光商工課	通勤通学をはじめ日常の暮らしの中に自転車を取り入れることにより、密を避けることができる移動手段を増やすことで、コロナ禍に対応した生活様式へ転換を図ることを目的に、自転車購入に対する補助を行い、自転車利用者の増加を図る。	R3.10	R4.2	2,732,500	2,732,500		自転車購入者へ対して、購入費の1/2(上限30千円)補助 【実績】128件(2,732千円)	自転車による移動を推奨する事により、コロナ禍に対応した生活様式への転換に繋がった。
25	事業中止									
26	観光誘客促進臨時対策事業費補助事業	観光商工課	伊豆市観光協会が実施するインターネット予約サイト(OTA)を活用した観光誘客促進臨時対策事業に対し、その経費の一部について補助金を交付することにより、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内の観光需要を喚起し、地域経済の振興と活性化を図る。	R3.7	R4.3	9,260,000	9,260,000		伊豆市観光協会が実施するOTA(オンライントラベルエージェント)を活用した宿泊割引事業に対し、その事業費の一部を補助することにより、感染症の影響を受けて落ち込んだ観光需要の喚起し、市内経済の振興と活性化を図った。 事業内容:インターネット予約サイトでの宿泊料割引 事業主体:伊豆市観光協会 対象者:全国民 ※R3.11.1時点で「緊急事態宣言」及び「まん防」発出の都道府県民を除く(⇒発出地域なしのため、全都道府県民が対象) 購入可能者:伊豆市民 クーポン発行事業者:楽天トラベル・じゃらんnet クーポン発行数:各600枚、計1,200枚 配布期間:R3.11.15~R4.1.29 ※即日完売 割引対象期間:R3.12.1~R4.1.31チェックアウト分割引内容 クーポン額面:10,000円 割引条件:宿泊人数2名以上、かつ、宿泊代金が税込20,000円以上の宿泊 ※1予約につき1枚利用可能 利用可能施設:市内宿泊施設のうち、楽天トラベル・じゃらんnetに加盟している施設(118施設) 【実績】 利用実績:926枚 補助金交付額:9,260千円	利用率:77.2% 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内の観光需要を喚起し、地域経済の振興と活性化に繋がった。
27	新型コロナウイルス感染症対策促進奨励金事業	観光商工課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と全国的な往來の再開に向け、安全・安心な生活環境と観光客受入環境の整備を促進し、地域経済の早期回復と安定を図るため、静岡県内の「ふじのくに安全・安心認証」を取得した市内の飲食店・宿泊施設に対して奨励金を支給する。	R3.10	R4.3	52,400,000	52,400,000		「ふじのくに安全・安心認証」を取得した市内の飲食店・宿泊施設に対して奨励金を支給。 飲食店10万円、宿泊施設30万円 【実績】 飲食業:200件(20,000千円) 宿泊業:108件(32,400千円) 合計:308件(52,400千円)	「ふじのくに安全・安心認証」取得を促すことにより、市民等の安全・安心に繋がった。
28	市内学校ネットワーク環境整備事業	学校教育課	コロナ禍の環境に対応したオンラインを活用した学習を推進するため、学校内の通信環境の強化を図る。	R4.1	R4.3	15,018,520	15,018,520	環境整備学校数:10校	市内小中義務教育学校で発生しているGIGAスクール用端末における接続障害を解消し、安定した運用を図るため、各校GIGAスクール用回線から直接、インターネットへ接続できるよう、設定の変更および機器の設置を行った。	本事業実施前には、授業時にクラスの一部の児童生徒がアプリ等に接続できない状態が頻発していたが、本事業を実施後、全ての学校において安定的かつ高速な接続ができるようになり、長期欠席者のリモート授業受講などを含め、GIGAスクール構想本来の端末の活用ができる環境となった。
29	対象外子育て世帯への臨時特別給付金事業	子育て支援課	児童手当の特例給付対象世帯等の子育て世帯への臨時特別給付金の対象とならない世帯に対し、臨時特別給付金を支給する。	R4.1	R4.3	11,700,000	11,700,000	臨時特別給付金給付件数:120件	令和3年度子育て世帯臨時特別支援事業により、児童手当受給世帯及び同様の基準相当の高校生3年生以下の児童を養育する世帯に児童1人当たり10万円を給付することとしたが、コロナ禍の状況を踏まえ、特例給付相当の世帯にも同じ金額で給付を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響は特例給付相当の世帯も受けているため、同様に給付を行うことにより、子育て世帯全体を支援することができた。
						合計	295,272,337	241,531,697		